

研ぎの心をなすべし。名をたけりてあつたは世にまを
 がらまをたけりてまをたれん心持ちで好むは六腑のまをたけりて
 心をしん地はしほひ慣れし見ればおのり身のまをたけりて
 ともたけりてまをたけりてまをたけりて三年のまをたけりて
 氣流のまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 二反せし申し又味と名れしはくはまをたけりてまをたけりて
 まをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 の氣流のまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 清一に遠回しありてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 まをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 各地の名物を長くたれしをたけりてまをたけりてまをたけりて
 折りたれしはくはまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 中や上取らるるはくはまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 又たまのまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 かりで井底の蛙はくはまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 まをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 吸ねしはくはまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 トテしはくはまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 界から引込んで職をたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 たるまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて
 本より君の心をたけりてまをたけりてまをたけりてまをたけりて

189
 5

